

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

佐賀大学大学院工学系研究科 循環物質化学専攻
先端融合工学専攻
システム創成科学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 佐賀大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

企画部企画課

副課長 木 塚 徳 男

電話番号 0952-28-8814

(夜間) 0952-28-8814

F A X 0952-28-8118

e-mail kizukan@cc.saga-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 既設大学等の状況	17
4. 教員組織の状況	18
5. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国 立 大 学 法 人 佐 賀 大 学

(2) 大 学 名

佐 賀 大 学

(3) 大学の位置

〒840-8502
佐賀県佐賀市本庄町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学系研究科 循環物質化学専攻(博士前期課程) 修士(工学、理学)	2 年	27 人	54 人	基礎となる学部名等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学系研究科 先端融合工学専攻(博士前期課程) 修士(学術、理学、工学)	2 年	36 人	72 人	基礎となる学部名等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学系研究科 システム創成科学専攻(博士後期課程) 博士(学術、理学、工学)	3 年	24 人	72 人	基礎となる学部名等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

報告年度 区 分	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 27	()	1.14	
志願者数	(-) 42	()		
受験者数	(-) 39	()		
合格者数	(-) 31	()		
B 入学者数	(-) 31	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.14	()		

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成20～21年度」には、確定した数値を記入してください。

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

報告年度 区 分	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 36	()	1.08	
志願者数	(-) 47	()		
受験者数	(-) 44	()		
合格者数	(-) 43	()		
B 入学者数	(-) 39	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.08	()		

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成20～21年度」には、確定した数値を記入してください。

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

報告年度 区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 24	()	()	1.16	
志願者数	(10) 29	()	()		
受験者数	(10) 28	()	()		
合格者数	(10) 28	()	()		
B 入学者数	(10) 28	()	()		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.16	()	()		

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成20～21年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

＜工学系研究科 循環物質化学専攻＞

報告年度 学 年	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[0] 31	[]	
2年次	[-] -	[]	
3年次	[-] -	[]	
計	[0] 31	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

＜工学系研究科 先端融合工学専攻＞

報告年度 学 年	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[2] 39	[]	
2年次	[-] -	[]	
3年次	[-] -	[]	
計	[2] 39	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

＜工学系研究科 システム創成科学専攻＞

報告年度 学 年	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備 考
1年次	[9] 28	[]	[]	
2年次	[-] -	[]	[]	
3年次	[-] -	[]	[]	
計	[9] 28	[]	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成２２年度	計 0 [0]	計 31 [0]	[0 %] 0 %
	うち平成２２年度入学者 0 人	平成２２年度 31 人	
	(主な退学理由)		
平成２３年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	うち平成２３年度入学者 人	うち平成２３年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

区 分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/b）
平成２２年度	計 ０ [０]	計 ３９ [２]	[０ ％ ０ 　 ％
	うち平成２２年度入学者 ０ 人	うち平成２２年度 ３９ 人	
	(主な退学理由)		
平成２３年度	計 []	計 []	[％ ％
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	うち平成２３年度入学者 人	うち平成２３年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

区 分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成 2 2 年度	計 [0]	計 [9]	[0 %] 0 %
	うち平成 2 2 年度入学者 0 人	うち平成 2 2 年度 28 人	
	(主な退学理由)		
平成 2 3 年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	(主な退学理由)		
平成 2 4 年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成 2 2 年度入学者 人	うち平成 2 2 年度 人	
	うち平成 2 3 年度入学者 人	うち平成 2 3 年度 人	
	うち平成 2 4 年度入学者 人	うち平成 2 4 年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	基礎無機化学特論	1・2前	2			2 1	1				兼3 准教授・助教の昇任により人数が変更 (21)
	基礎有機化学特論	1・2前	2			3	1				兼2
	基礎物理化学特論	1・2前	2			3 1	2 3				准教授の昇任と、これに伴う研究教育分野の再配置により人数が変更 (21)
	基礎反応化学特論	1・2前	2			2	3 4				教授の退職と准教授の昇任、およびこれらに伴う教育研究分野の再配置により人数が変更 (21)
	小計 (4 科目)	—	8	0	0	10 7	8	0	0	0	兼5
専門科目	無機構造化学特論	1・2後		2		1					
	反応有機化学特論	1・2前		2		1 1	1				准教授の昇任による変更 (21)
	光物性化学特論	1・2前		2		1					
	分子会合化学特論	1・2後		2		1 1	1				准教授の昇任による変更 (21)
	物性構造化学特論	1・2前		2			1				
	物質環境化学特論	1・2後		2			1				
	反応器設計特論	1後		2		1					
	生命錯体化学特論	1・2後		2		1 1	1				准教授の昇任による変更 (21)
	電子セラミックス工学特論	1・2後		2			1				
	グリーンケミストリー特論	1後		2		1					
	高分子物性特論	1・2後		2		1					
	生命物質化学特論	2後		2		1					
	電子機能材料工学特論	2後		2			1				
	地球循環化学特論	1・2後		2		1					
	物質循環工学特論	1・2後		2			1				
	物質分析化学特論	1前		2			1				
	環境超微量分析化学特論	1・2前		2		1 1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)
	分離機能材料工学	1・2後		2		1					
	高温化学特論	1・2前後		2		1 1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)
	循環物質化学特別講義Ⅰ	1・2前後		2							兼2
	循環物質化学特別講義Ⅱ	1・2前後		2		1 1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)
	循環物質化学インナー・ジャップ 特論	1・2前後		1							
	循環物質化学セミナー	1・2前後		2		10 8 8	9 8 8				教授の退職と准教授の昇任により人数が変更 (21)
	循環物質化学特別実習・演習Ⅰ	1前	2			10	9 8				教授の退職と准教授の昇任により人数が変更 (21)
	循環物質化学特別実習・演習Ⅱ	1後	2			10	9 8				教授の退職と准教授の昇任により人数が変更 (21)
	循環物質化学特別実習・演習Ⅲ (研究指導)	2前	2			10	9 8				教授の退職と准教授の昇任により人数が変更 (21)
	小計 (26 科目)	—	6	45	0	10	8 9	0	0	0	兼2
研究科共通科目	科学英語特論	1・2前後		2							兼3
	科学技術者倫理特論	1・2前後		2							兼2
	ビジネスマネジメント論	1・2後		2							兼1
	数値計算工学特論	1・2前後		4							兼3

産学連携特論	1・2後		2							兼1 できるだけ少人数のクラスにし、技術者としての素養を身につけるための教育効果を高めるため、科目を追加 (22)
小計 (5科目)			12							兼10
小計 (4科目)	—	0	10	0						兼9
合計 (3・5科目)			57		8					兼17
合計 (3・4科目)	—	14	55	0	10	9	0	0	0	兼16

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考	
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計		
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
7	27	0	34	7	28	0	35		
				[0]	[1]	[0]	[1]		

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医学概論	1・2前		2		1					
	医工制御特論	1・2前		2			1				
	医用信号解析特論	1・2前		2			1				
	先端無機化学特論	1・2前		2		2	1				
	先端有機化学特論	1・2前		2		1	2				
	小計 (5科目)	—	0	10	0	4	5	0	0	0	
専攻共通科目	融合数学特論	1・2前		2							兼1
	融合物理学特論	1・2後		2							兼1
	融合機械工学特論	1・2前		2							兼1
	融合電気電子工学特論	1・2後		2							兼1
	融合循環物質化学特論	1・2前		2							兼1
	融合都市工学特論	1・2後		2							兼1
	融合情報科学特論	1・2後		2							兼1
	先端融合工学特別講義Ⅰ	1・2前後		2							兼2
	先端融合工学特別講義Ⅱ	1・2前後		2		1					
	先端融合工学セミナー	1・2前後		2		3	3				
	先端融合インターンシップ特論	1・2前後		1		14	10	1			教育の質の確保と教育効果を高めるため、担当教員を追加 (22)
	先端融合工学特別実習・演習Ⅰ	1前	2			14	10				実習・演習の特性を考慮し、より高い教育効果が得られるように担当教員を追加 (22)
	先端融合工学特別実習・演習Ⅱ	1後	2			14	10	1			実習・演習の特性を考慮し、より高い教育効果が得られるように担当教員を追加 (22)
	先端融合工学特別実習・演習Ⅲ	2前	2			14	10	1			実習・演習の特性を考慮し、より高い教育効果が得られるように担当教員を追加 (22)
	(研究指導)	—									
	小計 (14科目)	—	6	21	0	14	10	1	0	0	兼9
	人体運動学特論	1・2前		2		1					兼5 兼9、オムバス 転出などにより担当教員の変更があったため (22)
	福祉・リハビリテーション特論	1・2後		2		1					兼2 兼3、オムバス 転出などにより担当教員の変更があったため (22)

専門科目	医工学コース科目	医工材料力学特論	1・2後		2							兼1、隔年
			1・2前									
		医工ロボティクス特論	1・2後		2		1					後学期に開講される「福祉・リハビリテーション特論」において、「医工ロボティクス特論」に関連した内容で講義を行うため、同時期の開講とならないように配当年次を変更 (22)
			1・2前									
		医工センシング特論	1・2後		2		1				後学期に開講される「医用統計学特論」で「医工センシング特論」に関連した内容で講義を行うため、同時期の開講とならないように配当年次を変更 (22)	
		医工力学特論	1・2前		2			1				
		医工流体機器特論	1・2前		2		1					
		医工流体応用学特論	1・2前後		2				1			
		医工トライボロジ特論	1・2後		2						兼1、隔年	
		医工伝熱特論	1・2前		2						兼1、隔年	
		医用統計学特論	1・2後		2		1					
		医用数値解析特論	1・2前		2		1					
		医用電磁気学特論	1・2後		2		1					
		医用システム制御工学特論	1・2前		2		1					
		医用計測工学特論	1・2前		2			1				
		脳生体情報工学特論	1・2後		2			1				
		医用画像処理工学特論	1・2前		2			1				
		小計（17科目）	—	0	34	0	7 5	4	1	0	0	兼10 兼15
	機能材料工学コース科目	先端無機材料工学特論	1・2前		2		1					
		先端電子材料工学特論	1・2後		2		1					
先端有機材料工学特論		1・2前		2		1						
先端機能分子特論		1・2前		2			1					
先端物性化学特論		1・2後		2			1					
先端物性工学特論		1・2後		2			1					
		1・2後										
先端生命化学特論		1後		2							兼1、隔年 学生の受講機会に不利益が生じないように、配当年次を毎年開講に変更 (22)	
先端物質生産化学特論		2後		2							兼1、隔年	
先端分離工学特論		2前		2							兼1、隔年	
		1・2後										
先端複合材料工学特論		1後		2							兼1、隔年 学生の受講機会に不利益が生じないように、配当年次を毎年開講に変更 (22)	
先端分析化学特論		2前		2							兼1、隔年	
		1・2前後										
セラミックス機能発現学特論		1前		2		1					隔年 学生の受講機会に不利益が生じないように、配当年次を毎年開講に変更及び前学期に開講される「先端無機化学特論」を履修した後に「セラミックス機能発現学特論」を履修することが望ましいため、配当年次を変更 (22)	
高温構造材料工学特論		2後		2		1					隔年	
		1・2後										
耐熱材料設計学特論		1後		2			1				隔年 学生の受講機会に不利益が生じないように、配当年次を毎年開講に変更 (22)	
機能性分子集積化技術特論		2後		2		1					隔年	
天然高分子系機能材料特論		2後		2		1					隔年	
	1・2後											
粉末冶金工学特論	1・2前		2			1				隔年 前学期に開講される「先端無機化学特論」を履修した後に「粉末冶金工学特論」を履修することが望ましいため、配当年次を変更 (22)		
	小計（17科目）		0	34	0	7	5	0	0	0	兼5	
研究科共通科目	科学英語特論	1・2前後		2							兼3	
	科学技術者倫理特論	1・2前後		2							兼2	
	ビジネスマネージメント論	1・2後		2							兼1	
	数値計算工学特論	1・2前後		4							兼3	
	産学連携特論	1・2後		2							兼1 研究科共通科目で、工学系研究科 (博士前期課程) の学生として、技術者としての素養を身につけ産学連携についての理解を深めるために、科目を追加 (22)	

小計 (5科目)			12						兼10
小計 (4科目)	—	0	10	0					兼9
合計 (58科目)			110		14				兼34
合計 (57科目)	—	0	109	0	13	10	1	0	兼38

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	54	0	57	3	55	0	58	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	研究科特別講義	1・2・3前後	2			87	66	1			退職・転出などにより担当教員の変更があったため (22)
	総合セミナー	1・2・3前後	2			93	68	2			退職・転出などにより担当教員の変更があったため (22)
	特定プロジェクトセミナー	1・2・3前後		2		87	66	1			退職・転出などにより担当教員の変更があったため (22)
	特別実習・演習 (研究指導)	1・2・3前後		2		93	68	2			退職・転出などにより担当教員の変更があったため (22)
		—	—			87	66	1			2単位選択必修 退職・転出などにより担当教員の変更があったため (22)
	小計 (4科目)	—	4	4	0	93	68	2			
理工学系 基礎 工学系 情報システム学 情報学	大域変分法特論	1・2・3前後		2		1					
	リーマン幾何学特論	1・2・3前後		2		1					
	部分多様体特論	1・2・3前後		2		1					
	数論幾何学特論	1・2・3前後		2		1					
	組合せ代数学特論	1・2・3前後		2			1				
	トポロジー特論	1・2・3前後		2			1				
	大域幾何学特論	1・2・3前後		2				1			
	統計数学特論	1・2・3前後		2		1					
	確率解析学特論	1・2・3前後		2		1					
	偏微分方程式特論	1・2・3前後		2		1					
	確率基礎学特論	1・2・3前後		2			1				
	代数幾何学特論	1・2・3前後		2		1					
	非線形偏微分方程式特論	1・2・3前後		2		1					
	応用解析学特論	1・2・3前後		2			1				
	複素解析学特論	1・2・3前後		2			1				
	センシングシステム特論	1・2・3前後		2		1					
	デジタル情報通信技術特論	1・2・3前後		2		1					
	生体情報学特論	1・2・3前後		2		1					
	教育工学システム特論	1・2・3前後		2		1					
	教育システム情報特論	1・2・3前後		2			1				
	知覚情報システム特論	1・2・3前後		2			1				
	並列アルゴリズム特論	1・2・3前後		2			1				
	情報代数学特論	1・2・3前後		2		1					
	複雑系の科学特論	1・2・3前後		2		1					
	コード最適化特論	1・2・3前後		2			1				
	情報処理学特論	1・2・3前後		2			1				
	数値関数解析特論	1・2・3前後		2			1				
	数値くりこみ法特論	1・2・3前後		2			1				
情報学	半導体材料学特論	1・2・3前後		2			1				
	電磁波工学特論	1・2・3前後		2		1					
	半導体物性特論	1・2・3前後		2		1					

専門教育科目	通信エレクトロニクス	半導体表面科学特論	1-2-3前後	2		1						
		信号処理回路特論	1-2-3前後	2			1					
		神経情報処理工学特論	1-2-3前後	2				1				
		レーザ応用工学特論	1-2-3前後	2		1						
		エレクトロニクス実装工学特論	1-2-3前後	2				1				
		脳型情報処理特論	1-2-3前後	2					1			
		シンクロトン光物性特論	1-2-3前後	2		1						
		光電子物性特論	1-2-3前後	2					1			
	エネルギーエレクトロニクス	環境エネルギー工学特論	1-2-3前後	2		1						
		実環境計測評価特論	1-2-3前後	2				1				
		数値電気力学特論	1-2-3前後	2		1						
		プラズマ発生工学特論	1-2-3前後	2					1			
		パルスパワー工学特論	1-2-3前後	2						1		
		システム制御設計特論	1-2-3前後	2		1						
	小計（45科目）			0	90	0	22	19	1	0	0	
	生産物質科学コース科目	基本物質物理学	基本粒子実験物理学特論	1-2-3前後	2		1					
			宇宙論特論	1-2-3前後	2		1					
			場の理論特論	1-2-3前後	2		1					
			素粒子核分光学特論	1-2-3前後	2		1					
			素粒子実験学特論	1-2-3前後	2		1					
			量子多体論特論	1-2-3前後	2				1			
			素粒子論特論	1-2-3前後	2					1		
			ハドロン物理学特論	1-2-3前後	2					1		
		素粒子論的宇宙論	1-2-3前後	2					1			
		物性物理学	強相関系物理特論	1-2-3前後	2		1					
量子干渉特論			1-2-3前後	2		1						
低温物性特論			1-2-3前後	2		1						
量子光学特論			1-2-3前後	2		1						
磁性体物性特論			1-2-3前後	2				1				
超伝導物理特論			1-2-3前後	2					1			
ナノ物理学特論			1-2-3前後	2					1			
熱流体エネルギー工学		熱エネルギー利用学特論	1-2-3前後	2		1						
		流体エネルギー創成工学特論	1-2-3前後	2		1						
		流体機械システム学特論	1-2-3前後	2		1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)	
		熱エネルギー機器工学特論	1-2-3前後	2				1				
		熱エネルギー移動工学特論	1-2-3前後	2		1						
		流体機器開発工学特論	1-2-3前後	2				1				
機能創造システム学		機器要素設計学特論	1-2-3前後	2		1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)	
		高精度加工システム特論	1-2-3前後	2		1						
	トライボロジー解析特論	1-2-3前後	2		1							
	計算固体力学特論	1-2-3前後	2		1							
	機械材料強度学特論	1-2-3前後	2				1					
	生産システム特論	1-2-3前後	2		1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)		
	行動型ロボット特論	1-2-3前後	2		1							
	適応・学習システム特論	1-2-3前後	2				1					
	精密加工学特論	1-2-3前後	2					1				
	金属疲労学特論	1-2-3前後	2		1							
海洋エネルギー学	海洋工学特論	1-2-3前後	2		1							
	エネルギー輸送現象特論	1-2-3前後	2		1							
	自然エネルギー利用工学特論	1-2-3前後	2				1					
	海洋熱エネルギー創成工学特論	1-2-3前後	2					1				
	海洋環境工学特論	1-2-3前後	2					1				
	海洋熱エネルギー機器工学特論	1-2-3前後	2					1				
小計（38科目）			—	0	76	0	18	17	0	0	0	
無機材料化学	複合錯体構造学特論	1-2-3前後	2		1							
	金属錯体化学特論	1-2-3前後	2		1							
	ハイブリッド材料化学特論	1-2-3前後	2		1	1				准教授の昇任による変更 (21)		
	無機電子材料特論	1-2-3前後	2				1					
	環境調和型有機化学特論	1-2-3前後	2		1							
	有機薄膜構造特論	1-2-3前後	2		1							
	物質変換化学特論	1-2-3前後	2		1	1				准教授の昇任による変更 (21)		
	機能蛋白質化学特論	1-2-3前後	2		1							
	生体分子構造特論	1-2-3前後	2		1							
	物質循環	高機能物質化学特論	1-2-3前後	2		1	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)	
光機能性物質学特論		1-2-3前後	2		1							

社会循環システム学コース科目	物理化学	両親媒性物質化学特論	1・2・3前後	2		1	4				准教授の昇任による変更 (21)	
		固体機能材料工学特論	1・2・3前後	2			1					
		計算機物質化学特論	1・2・3前後	2			1					
	資源循環システム化学	環境分析化学特論	1・2・3前後	2		1						
		循環資源化学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境制御化学特論	1・2・3前後	2		4	1				教授退職に伴う専門分野間での人員配置の変更 (22)	
		分子認識化学特論	1・2・3前後	2			1					
		廃棄物工学特論	1・2・3前後	2			1					
		分離機能分子工学特論	1・2・3前後	2		1						
	建設システム工学	基礎地盤工学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境地盤学特論	1・2・3前後	2		1						
		地盤材料科学特論	1・2・3前後	2			1					
		地盤材料解析学特論	1・2・3前後	2			1					
		地域建築計画学特論	1・2・3前後	2			1					
		土質工学特論	1・2・3前後	2			1					
		構造施工学特論	1・2・3前後	2		1						
		構造設計学特論	1・2・3前後	2		1						
		計算工学特論	1・2・3前後	2			1					
	コンクリート工学特論	1・2・3前後	2			1						
	都市・環境システム工学	水資源管理学特論	1・2・3前後	2		1						
		水質制御工学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境システム工学特論	1・2・3前後	2			1					
		地域水系管理学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境水理学特論	1・2・3前後	2			1					
		交通計画学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境システム評価特論	1・2・3前後	2		1						
		都市システム管理学特論	1・2・3前後	2		1						
	建築・都市デザイン学	建築歴史意匠学特論	1・2・3前後	2		1						
		環境デザイン特論	1・2・3前後	2		1					平成22年10月1日採用で人事進行中（公募を終了し選考中）のため配当年度を変更（22）	
		建築環境制御学特論	1・2・3前後	2			1					
		都市・建築環境心理学特論	1・2・3前後	2			1					
		景観デザイン学特論	1・2・3前後	2			1					
		地域建築学特論	1・2・3前後	2			1					
	地域産業システム学	地域産業政策特論	1・2・3前後	2		1						
		地域労働政策特論	1・2・3前後	2		1						
		マーケティング特論	1・2・3前後	2		1						
		途上国開発特論	1・2・3前後	2		1						
		産業会計測定特論	1・2・3前後	2		1						
		ベンチャー会計特論	1・2・3前後	2		1						
		政策システム分析特論	1・2・3前後	2		1						
		国際金融特論	1・2・3前後	2		4					担当予定者が平成21年10月1日付けで役員（理事）に就任（任期は平成23年9月30日まで）。講義内容を引継げる専任教員がいないため（22）	
	地域社会システム学	地域社会学特論	1・2・3前後	2		1						
		地域経済学特論	1・2・3前後	2			1					
		環境法学特論	1・2・3前後	2		1						
		都市地理学特論	1・2・3前後	2		1						
		地域比較文化学特論	1・2・3前後	2		1						
		地域市民社会特論	1・2・3前後	2			1					
		環境生態学特論	1・2・3前後	2		1						
	小計（59科目）			—	0	118	0	34 36	20 22	0	0	0
先端融合工学コース科目	医工学	先端医工ロボティクス特論	1・2・3前後	2		1						
		先端生体システム工学特論	1・2・3前後	2		1						
		先端医学電子工学特論	1・2・3前後	2		1						
		先端医用生体工学特論	1・2・3前後	2			1					
		先端生体流体工学特論	1・2・3前後	2		1						
		先端医療機器工学特論	1・2・3前後	2		1		4			教授への担当教員の変更（22）	
		先端医工電磁界解析特論	1・2・3前後	2		1						
		先端医用計測工学特論	1・2・3前後	2		1						
		先端生体機能力学特論	1・2・3前後	2			1					
		先端医工制御特論	1・2・3前後	2			1					
		先端医用画像処理工学特論	1・2・3前後	2			1					
		先端知能計測工学特論	1・2・3前後	2			1					
		機能	先端固体材料科学特論	1・2・3前後	2		1					
			先端エネルギー材料科学特論	1・2・3前後	2		1					
			先端材料複合工学特論	1・2・3前後	2			1				
	先端機能分子設計特論		1・2・3前後	2		1						
	先端有機物理化学特論	1・2・3前後	2			1						

材料工学	先端機能分子物性特論	1・2・3前後	2			1				
	先進材料科学特論	1・2・3前後	2			1				
	ナノテクノロジー応用特論	1・2・3前後	2		1					
	化学応用特論	1・2・3前後	2		1					
	先端耐熱材料工学特論	1・2・3前後	2			1				
	環境材料設計特論	1・2・3前後	2		1					
	複合材料構造学特論	1・2・3前後	2		1					
小計（24科目）		—	0	48	0	13	10	0	0	
合計（170科目）		—	4	336	0	87 93	66 68	1 2	0	0

- （注）・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき，設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき，「備考」に赤字で理由・変更年月等

（2）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	168	0	170	2	168	0	170	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	環境デザイン特論	2	1後2.3前後	専門	選択	平成22年10月1日採用で人事進行中（公募を終了し選考中）。代替措置なし。
2	国際金融特論	2	2後.3前後	専門	選択	担当予定者が平成21年10月1日付けで役員（理事）に就任（任期は平成23年9月30日まで）。講義内容を引継げる専任教員がいない。代替措置なし。
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目が2科目あるが、いずれの科目も、平成22年度に入学した学生の在学期間である平成24年度までには開講する予定であり、在学期間中に受講することは可能である。「環境デザイン特論」は、担当予定教員の採用が遅れたことによるもので平成22年度後学期から開講する予定であり、「国際金融特論」は、担当予定教員が役員に就任したため任期終了後の平成23年度後学期から開講する予定である。
 学生への周知方法は掲示にて行う。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}}$	=	0.01
---	---	------

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学 の 名 称	佐 賀 大 学							備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	学 員 数	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年		人	年次 人	人		倍			
文化教育学部										
学校教育課程	4	90	—		360	学士 (学校教育)	1.10	16	佐賀市本庄町1番地	
国際文化課程	4	60	—		240	学士 (国際文化)	1.01	16	佐賀市本庄町1番地	
人間環境課程	4	60	—		240	学士 (人間環境, 健康福祉・スポーツ)	1.04	16	佐賀市本庄町1番地	
美術・工芸課程	4	30	—		120	学士 (美術・工芸)	1.07	16	佐賀市本庄町1番地	
3年次編入学	2	—		3年次 20	40	学士 (国際文化, 人間環境, 健康福祉・スポーツ, 美術・工芸)	0.92	16	佐賀市本庄町1番地	
経済学部										
経済システム課程	4	140	—		560	学士 (経済学)	1.08	16	佐賀市本庄町1番地	
経営・法律課程	4	135	—		540	学士 (経済学)	1.09	16	佐賀市本庄町1番地	
医学部										
医学科	6	106	—		586	学士 (医学)	1.00	16	佐賀市鍋島5丁目1番1号	平成22年度より入学定員 変更 100人→106人
看護学科	4	60	—		240	学士 (看護学)	1.00	16	佐賀市鍋島5丁目1番1号	
3年次編入学	2	—		3年次 10	20	学士 (看護学)	0.95	16	佐賀市鍋島5丁目1番1号	
理工学部										
数理科学科	4	30	—		120	学士 (理学)	1.03	16	佐賀市本庄町1番地	
物理科学科	4	40	—		160	学士 (理学)	1.11	16	佐賀市本庄町1番地	
知能情報システム学科	4	60	—		240	学士 (理学)	1.08	16	佐賀市本庄町1番地	
機能物質化学科	4	90	—		360	学士 (理学, 工学)	1.10	16	佐賀市本庄町1番地	
機械システム工学科	4	90	—		360	学士 (工学)	1.06	16	佐賀市本庄町1番地	
電気電子工学科	4	90	—		360	学士 (工学)	1.07	16	佐賀市本庄町1番地	
都市工学科	4	90	—		360	学士 (工学)	1.05	16	佐賀市本庄町1番地	
3年次編入学	2	—		3年次 20	40	学士 (理学, 工学)	0.75	16	佐賀市本庄町1番地	
農学部										
応用生物科学科	4	45	—		180	学士 (農学)	1.08	18	佐賀市本庄町1番地	
生物環境科学科	4	60	—		240	学士 (農学)	1.10	18	佐賀市本庄町1番地	
生命機能科学科	4	40	—		160	学士 (農学)	1.08	18	佐賀市本庄町1番地	
3年次編入学	2	—		3年次 10	20	学士 (農学)	1.13	18	佐賀市本庄町1番地	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について

平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学系研究科 循環物質化学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
19	0	19	0	18	0	18	0	
(18)	(0)	(18)	(0)	[△1]	[0]	[△1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

<工学系研究科 先端融合工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
23	1	24	0	24	1	25	0	
(24)	(1)	(25)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

<工学系研究科 システム創成科学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
93	70	163	0	91	63	154	0	
(90)	(59)	(149)	(0)	[△2]	[△7]	[△9]	[0]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

5 その他全般的事項

<工学系研究科 循環物質化学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/setti.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学系研究科 先端融合工学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (☒ 承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/setti.html>)

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

<工学系研究科 システム創成科学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (☒ 承諾する ・ ☐ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.saga-u.ac.jp/koukai/setti.html>)

(注)・「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス：d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。